

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教育支援教室			事業番号	038-065
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター	部	企画相談課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—	
			無	取組の方向性	—				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.5	
			有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度			平成 8 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			教育基本法 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		出先機関				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		堺市内在住の小学4年生から中学3年生までの不登校児童生徒			対象数	単位
						—	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		さまざまな要因で不登校の状態にある児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう支援すること。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		■ 4 か所の教育支援教室を運営（常設2か所、出張2か所） ◆ 教育支援教室スプリングポート（月～金曜日）（堺区錦之町西2丁2－34） ◆ 教育支援教室ユアイルーム（月～金曜日）（美原区黒山167－9） ◆ 出張教育支援教室深井教室（火～金曜日）（中区深井清水町1426番地 中文化会館内） ◆ 出張教育支援教室榎教室（火・木曜日の午前中）（南区桃山台2丁1-2 榎文化会館内）				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		教育支援教室の通室生に対し、集団への参加、対人関係の構築、自習学習等において支援・指導を行い、家庭や学校と情報共有、連携しながら社会的自立や学校復帰に向けた支援を実施。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）		—				
10	公民連携・協働事業		—				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11	社会的自立や学校復帰に向かった児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	85	91		
			達成率	85%	91%		
	当該指標を選定した理由	児童生徒の「学習習慣・学習意欲」や「対人関係能力」の向上が主体的に進路選択や社会的自立、学校復帰に向かう傾向と関連するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	通室児童生徒に対するアンケートの該当する項目に対して肯定的な回答を行ったものの割合から算出					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	通室生の平均通室率	%	目標値	80	80	80	
			実績値	73	74		
			達成率	91%	92%		
	当該指標を選定した理由	通室生個々の状況に応じて設定された通室日に実際に来て活動することができたかを把握することで、子どもたちへの支援が妥当であったかどうか、負荷がかかりすぎていなかったかを検証するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	通室生個々の通室設定日に対して実際に通室できた割合の平均を算出						

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	教育支援教室	事業番号	038-065
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	36,834	36,675	47,866	49,319	54,759
財源内訳	国支出金					23
	府支出金					0
	市債					0
	その他（施設光熱水費徴収金）	31	30	28	28	30
	受益者負担金（使用料、手数料等）					0
	一般財源	36,803	36,645	47,838	49,291	54,706
14	人件費（b）	16,400	24,600	24,300	24,300	24,300
15	年間経費（c）=（a）+（b）	53,234	61,275	72,166	73,619	79,059

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	会計年度任用職員報酬（枠外）	決算	31,770	31,770	教育支援教室警備業務	決算	330	330		
		予算	30,936	30,936		予算	360	360		
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）（枠外）	決算	5,639	5,639	樹木剪定・整枝、薬剤散布業務	決算	396	396		
		予算	10,242	10,242		予算	500	500		
	謝礼金（枠）	決算	4,168	4,168	通信運搬費（枠）	決算	267	267		
		予算	4,823	4,823		予算	332	332		
	費用弁償（通勤費）（枠外）	決算	1,833	1,833	会場借上料（枠）	決算	2,680	2,680		
		予算	2,184	2,184		予算	3,055	3,055		
	消耗品費（枠）	決算	891	891	その他	決算	1,345	1,317		
		予算	812	812		予算	1,515	1,462		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① 通室生の延べ通室回数	回	6,065	7,383
② 上記①にかかる年間経費	千円	61,275	73,619
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	10,103	9,971
備考（算出についての説明等）		通室生が実際に教育支援教室で活動している回数に対する経費を算出	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	通室生が教育支援教室で活動するにあたって、費用がどの程度かかるのかを算出しているが、不登校児童生徒の社会的自立や学校に復帰に向けた支援は一律ではなく、児童生徒個々の状況によって内容も時間（通室回数）も変動するため、費用対効果を評価することが難しい。年間経費には施設の維持管理費なども含まれているため、光熱水費等の節約に努め、費用対効果を意識して事業を実施した。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	■スプリングポート（堺区）、ユアイルーム（美原区）、出張教育支援教室深井教室（中区）、出張教育支援教室梅教室（南区）を運営 ■入室児童生徒数 219人 延べ通室回数 7,383回 ■入室児童生徒に対し個々に応じた支援を行い、主体的に社会的自立や学校復帰に向かう一助となった。
----	---